

子供歌舞伎特別披露

五月三日（火）中央公民館大ホールにおいて子供歌舞伎の特別披露が行われました。掛斐祭りで奉納披露される伝統芸能の子供歌舞伎をじっくりと鑑賞してもらうために、昨年より特別披露が行われています。

今年を上町の子供たちにより、『傾城阿波の鳴門 一どんどろ大師の場』が上演されました。会場は立見の観客が出るほどの満員で、小さな役者たちの熱の入った堂々とした歌舞伎を披露に観衆は魅了されていました。



堂々とした子供歌舞伎を披露

新茶の季節です

八十八夜を迎えた五月二日（月）、桂地内の茶畑において、桂茶生産組合の組合員と北和中学校、掛斐小学校、大和小学校の児童・生徒、約二百五十人が参加してお茶の初摘みの体験交流が行われました。

当日は、組合員の方が丹精込めて育てたお茶の芽を児童・生徒たちは組合員に指導を受けながら、丁寧に摘み取っていました。摘み取られたお茶は、加工され岐阜県茶総合品評会に出品されるそうです。

茶摘のあと、加工施設の見学で製茶の過程を学び、そして組合で加工されたお茶を味わいました。

このイベントが終わると、本格的な摘み取りの本格的な作業が始まります。



八十八夜に茶摘

まちを守ります

● 掛斐川消防団

四月十七日（日）掛斐川消防団新入団員・新幹部研修会が行われました。新入団員はこれからの消防団活動に必要な知識と実技を学びました。また新幹部の方々は、より実践的な消防戦術と災害時の救助・救急活動について学びました。

● 春日消防団

掛斐川町春日消防団では、幹部研修の一貫として、いつ起きるかわからない災害に備えて、五月一日（日）に春日消防団管内の林道、作業道、谷などの状況を確認しました。

これは、有事の際、迅速な自然水利確保などの対応が出来るよう実施しました。今後も、町民の皆さんが安心して暮らせるよう活動を続けていきます。

「谷汲ゆり園」開園

「谷汲ゆり園」が六月五日（日）から七月十八日（月）の毎日午前八時三十分から午後五時まで開園します。

面積三ヘクタールのゆり園は見事で、地元の大洞区民の方が丹誠込めて育てられた三十万株以上・四十品種のゆりが栽培されています。

また、六月十九日（日）には、谷汲ゆり園遊会が開催され、郷土芸能の披露、地元特産品販売、茶会なども予定されていますので、お誘い合わせてお出掛けください。

